

令和4年度 一般選抜問題 1期 【1日目】

政治・経済

1

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(34点)

私たちの社会は社会的分業によって成り立っており、分業は国内だけではなく外国との間でも行われている。外国と商品やサービスの取引を行うことを貿易という。国内の分業が国の生産力を上昇させるのと同じように、国際分業は世界全体により多くの富をもたらすと考えられている。

国における各商品の生産費の比を他国のそれと比較して、優位の商品を [1] して劣位の商品を [2] すれば、双方が利益を得て国際分業が行われるという考えは比較生産費説と呼ばれ、この考えを初めに理論的に示したのはイギリスの経済学者 [A] である。彼は比較生産費説に基づいて [3] 貿易を唱え、工業品だけではなく農作物の貿易の [3] 化も主張して、農業の [4] を唱える [B] と対立した。[A] は [5] 法の存在はイギリスの [5] 価格を上昇させ、資本蓄積を阻害するとしてその廃止を主張し、[B] は食料輸入の不安定性などからその擁護を主張した。

国際分業には、おもに [6] 国が単純な部品や原材料を供給して先進工業国が複雑な加工などをおこなう [7] 的分業と、おもに先進工業国どうしが完成品や高度な部品を貿易しあっている [8] 的分業がある。

比較優位は天然資源が地理的にかたよって存在している場合や、設備、人的資源などによって生じる。比較生産費説では労働者の賃金が安い [6] 国では労働集約的な農業が有利と考えられる。しかしながら、安価な農作物ばかりを [1] していると [9] 条件は低いままであり、国民の所得水準は向上しない。

19世紀前半、工業が発展しつつあったドイツの経済学者 [C] は、自国の幼稚産業を [4] するために、後発資本主義国における [4] 貿易の必要性を唱えた。現代の先進工業国においても、自国の産業を [4] するための措置が行われている。[4] 貿易の手段としては関税をかけたり、輸入数量に制限を設けるなどの非関税障壁がある。また、輸入品の検査の厳格化も非関税障壁となる場合もある。

また、緊急関税制度のような貿易に関する国際的な取り決めもある。これは特定品目の輸入急増による国内産業への重大な損害の防止のために国際貿易機関が認め^(a)ている緊急輸入制限措置であり、内外 [10] 差の範囲内で割増関税（緊急関税）を課すことが出来ることになっている。^(b)

問1 空欄 ～ に入る適切な語句を答えなさい。

問2 空欄 ～ に入る適切な語句を，下記の選択肢から1つ選び，
記号で答えなさい。

- ア. ケインズ イ. デュルケーム ウ. マルクス エ. ウェーバー
オ. マーシャル カ. リスト キ. フリードマン ク. マルサス
ケ. アダム・スミス コ. リカード

問3 下線部(a)をカタカナ 6 文字で何というか，答えなさい。

問4 下線部(b)をアルファベット 3 文字で何というか，答えなさい。

2

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(33点)

□ 1 □ 年に制定された明治憲法は、天皇を中心とする近代的集権国家の樹立を急いだ明治政府が、当時の □ 2 □ 憲法を参考にして制定した □ 3 □ 憲法である。立法・行政・司法のいわゆる「三権」は、名目上すべて「統治権ヲ総攬^{そうらん}」する天皇に帰属しているが、その行使は国务大臣・民選議院により制約され、または □ 4 □ に委任されるなど、「憲法による権力の制限」を企図した □ 5 □ 的憲法として、当時の国際水準に達していた。

また大正時代に入ると、□ A □ などの、明治憲法のリベラルな解釈が有力化した。これにより国民の政治参加は拡大し、また藩閥の衰退も相まって政党内閣の慣行が生じた。^(a) こうして昭和の初頭には、女性の政治参加を除けば、^(b) おおむね今日と遜色ない憲政が実現されたと評し得る。しかし世界恐慌に端を発する不況、政党の混迷と腐敗、ワシントン体制の崩壊による国際的緊張、テロの横行^(c)といった内外の情勢下で、憲法自体の分権的性格^(d)*¹が軍閥の政治介入^(d)*²を招き、その命脈は極めて短かった。

※ 1 天皇による統治権の総攬^{そうらん}は名目的なもので、法律上は大権ごとの補佐機関が最終的な責任者であったが、複数の機関意思が矛盾した場合を処理するための制度を、明治憲法は欠いていた。これを非公式に担って天皇・摂政を補佐したのが、藩閥を背景とする元老である。しかし自然人である元老の生命には当然限りがあり、当時の政党は弱体で元老の機能を代替できなかった。

※ 2 かなりの程度世論に支持されていた。

問 1 空欄 □ 1 □ ～ □ 5 □ に適切な語句を、下記の選択肢から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 民定 イ. 資本主義 ウ. 1904 エ. イギリス オ. 立憲主義
カ. 奉行所 キ. 欽定 ク. 裁判所 ケ. 行在所 コ. フランス
サ. プロイセン シ. 1868 ス. 帝国主義 セ. 1889 ソ. 暫定

問2 空欄 に不適切な語句を，下記の選択肢から1つ選び，記号で答えなさい。

ア．民本主義 イ．天皇親政論 ウ．立憲君主論 エ．天皇機関説

問3 下線部(a)のため大正14年（1925年）に制定された法律は何か，漢字で答えなさい。

問4 下線部(b)に関する次の記述を読んで，空欄 に適切な語句を，下記の選択肢から1つ選び，記号で答えなさい。

現在，我が国の憲法でも実定化されているところの「民選議院の多数派に支持された議員が首長として内閣を組織する」という政治の方式は， 制と呼ばれる。

ア．超然内閣 イ．次官内閣 ウ．影の内閣 エ．議院内閣

問5 下線部(c)の例として不適切な語句を，下記の選択肢から1つ選び，記号で答えなさい。

ア．2・26事件 イ．5・15事件 ウ．血盟団事件 エ．赤穂事件

問6 下線部(d)に関する次の記述を読み，空欄 に入る適切な語句を，漢字で答えなさい。

本来は「陸海軍実施部隊の運用を政治過程から切り離す」という意味に過ぎなかった，いわゆる 権の独立*という概念について，「陸海軍の所管事項一般に議会・内閣が関与することを禁ずる趣旨である」という誤った解釈が有力化してしまったことが，軍閥の政治介入に深く関係している。

※ 天皇ハ陸海軍ヲ ス（明治憲法11条）

3

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

(33点)

日本における中小企業数は全企業数の約 % を占めている。日本経済はまさに中小企業によって支えられているといっても過言ではない。

日本の産業構造は、高度経済成長期に大きく変化した。さらに第一次石油危機により、重厚長大産業から軽薄短小産業へと産業構造の転換が図られた。

^(b)産業構造の転換に伴い、日本経済を支える中小企業の地位も変化してきた。かつて、中小企業は「経済の二重構造」に苦しむ弱い存在であるとみなされていた。「経済の二重構造」とは、大企業と中小企業との間に大きな格差があることを指す言葉である。

そのような中小企業像の典型例が、自動車部品を製造する企業のように、特定の大企業と強く結びついて継続的な取引を行っている中小企業である。多くの場合、これらの中小企業は大企業の傘下にあり、取引関係が対等ではないという問題を抱えているとされる。^(d)

1963年には、中小企業と大企業との格差を是正し、中小企業を保護・育成することを目的とした法律が制定されたが、1999年の改正では、中小企業は弱者ではなく、日本経済の発展をリードする存在であるという立場が取られ、「中小企業の経営の革新」「創業の促進」「創造的な事業活動の促進」へと政策の方針が転換された。^(e)

このように近年では、中小企業は「経済の二重構造」に苦しむ弱いだけの存在ではなく、革新を担い、経済をリードする主役としてその存在が見直されている。そのような中小企業像の典型例が、新産業や新技術にリスクを恐れず果敢に挑戦するタイプの中小企業である。^(f)

また、大企業では採算が取れないような隙間産業に進出し、地域経済の担い手として活躍している中小企業もある。さらに、伝統的な地場産業を担っているのも中小企業である。^(g)

問1 空欄 に入る適切な数字を、下記の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 55 イ. 77 ウ. 88 エ. 99

問2 下線部(a)に関し、産業構造の変化について正しい記述を、下記の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 第1次産業の割合が増えた。
- イ. 第1次産業と第2次産業の割合が増えた。
- ウ. 第2次産業と第3次産業の割合が増えた。
- エ. 各産業の割合は変わらなかったが、所得が増えた。

問3 下線部(b)に関し、重厚長大産業と軽薄短小産業の具体例を1つずつ挙げなさい。

問4 下線部(c)に関し、大企業と中小企業の間にある格差の例を2つ挙げなさい。

問5 下線部(d)に関し、このような中小企業を指す言葉として適切なものを、下記の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 内国企業 イ. 下請企業 ウ. 卸売企業 エ. 老舗企業
- オ. 新興企業

問6 下線部(e)の法律の名前を答えなさい。

問7 下線部(f)に関し、このような中小企業を指す言葉として適切なものを、下記の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 伝統企業 イ. ファミリー企業 ウ. ベンチャー企業
- エ. 小売企業 オ. 個人企業

問8 下線部(g)を言い換えた言葉として適切なものを、下記の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ソフト産業 イ. 6次産業 ウ. 知識産業 エ. 成長産業
- オ. ニッチ産業